

神戸町の資源ごみの現状



ごみを減らしましょう!

限りある地球の資源を大切に使い次世代のために残すとともに、住みよい環境を維持するため、私たちはできるだけ環境に負荷がかからない生活スタイルに変えていくことが必要となります。

その一つとして、はじめにごみの発生を抑制し、次に不用になったものは再使用や再生利用することを考える。こうした資源を有効利用する一人ひとりの行動の積み重ねが、環境への負荷を低減する「循環型社会」に結びついていきます。

一人ひとりが「ごみを減らしていこう」という意識を持ち、実行していくことが大切です。



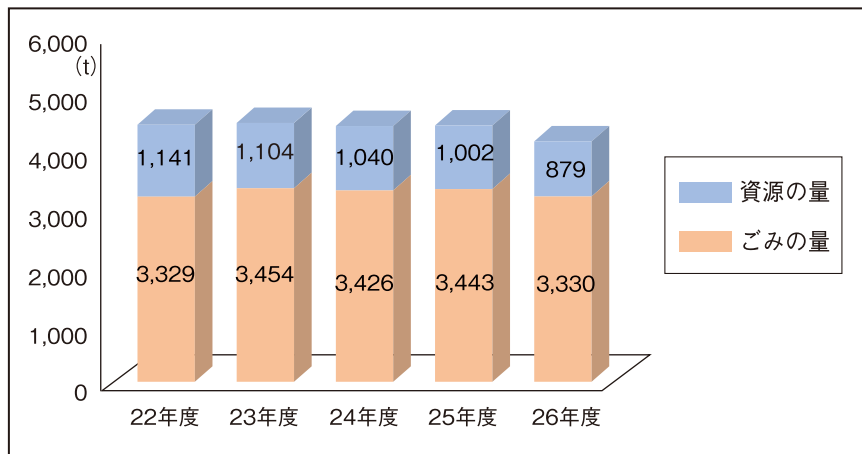
神戸町民はどのくらいのごみや資源を出している?

平成22年度(2010年度)から平成26年度(2014年度)までに町が収集したごみの量と資源の量は、下のグラフのとおりです。(家庭ごみに限る)

平成26年度のごみの量は3,330t、資源の量は879tで、町民^(※)1人が1年間に出すごみの量は約168.0kg、資源の量は約44.4kgになります。これは、1人1日あたり約460.3gのごみと約121.6gの資源を出したことになります。

※19,816人(平成27年3月31日現在、外国人含む)

町が収集したごみ量と資源量の推移



清掃とリサイクルの事業に、どれくらいの費用がかかっている?

平成26年度に町の清掃事業とリサイクル事業にかかった費用を算出し、指定ごみ袋(廃棄物処理手数料)や故紙、缶の売却などの収入を引くと次のようになります。(家庭ごみに限る)

清掃・リサイクル事業 1億7,373万円 (町民一人あたり約8,767円)

ごみの減量化は、清掃事業に係る費用を削減するということにもつながります。

また、リサイクルにも費用はかかります。そのため、リサイクルをする前に発生抑制、再使用に取り組むことが大切です。